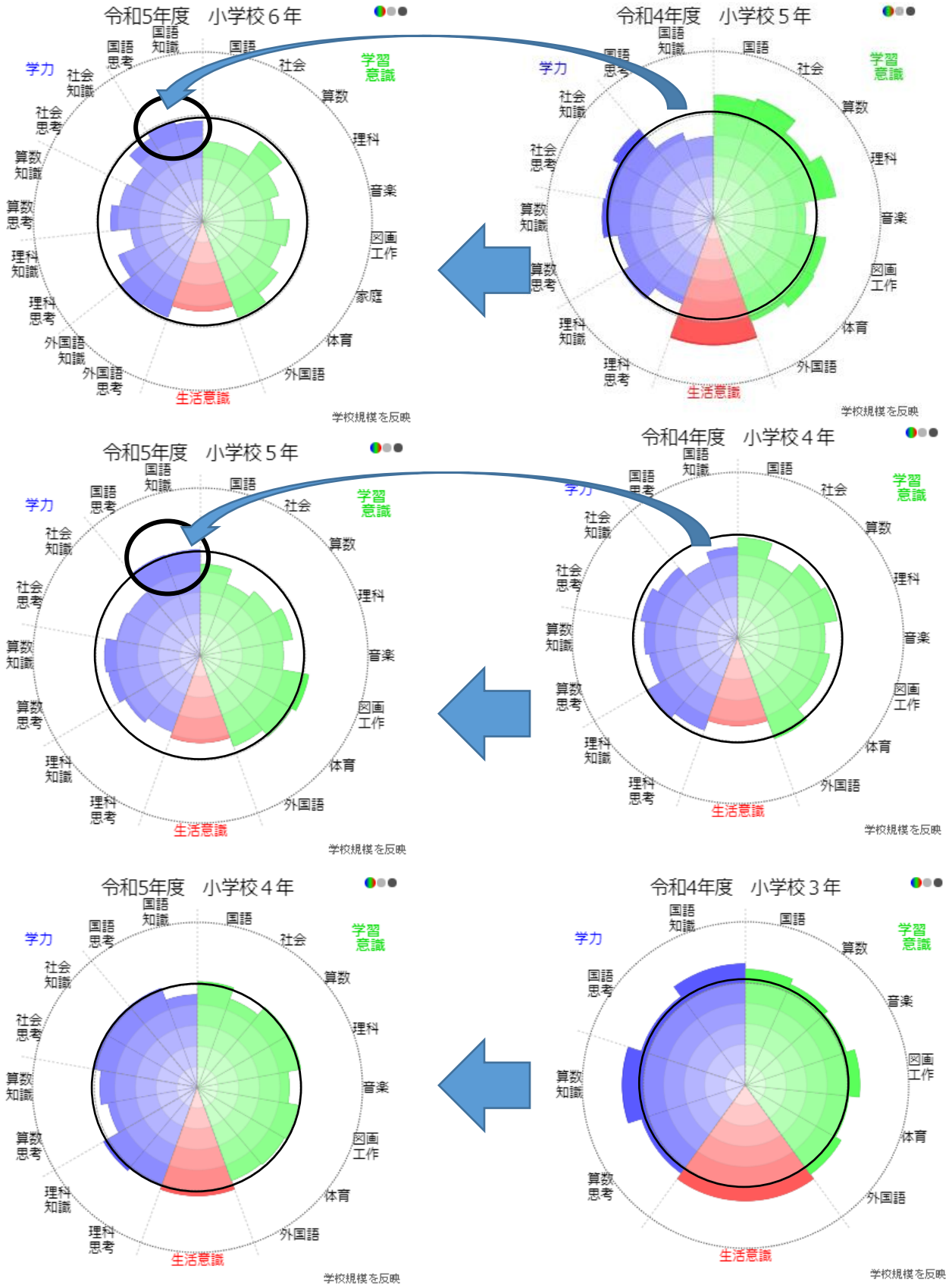
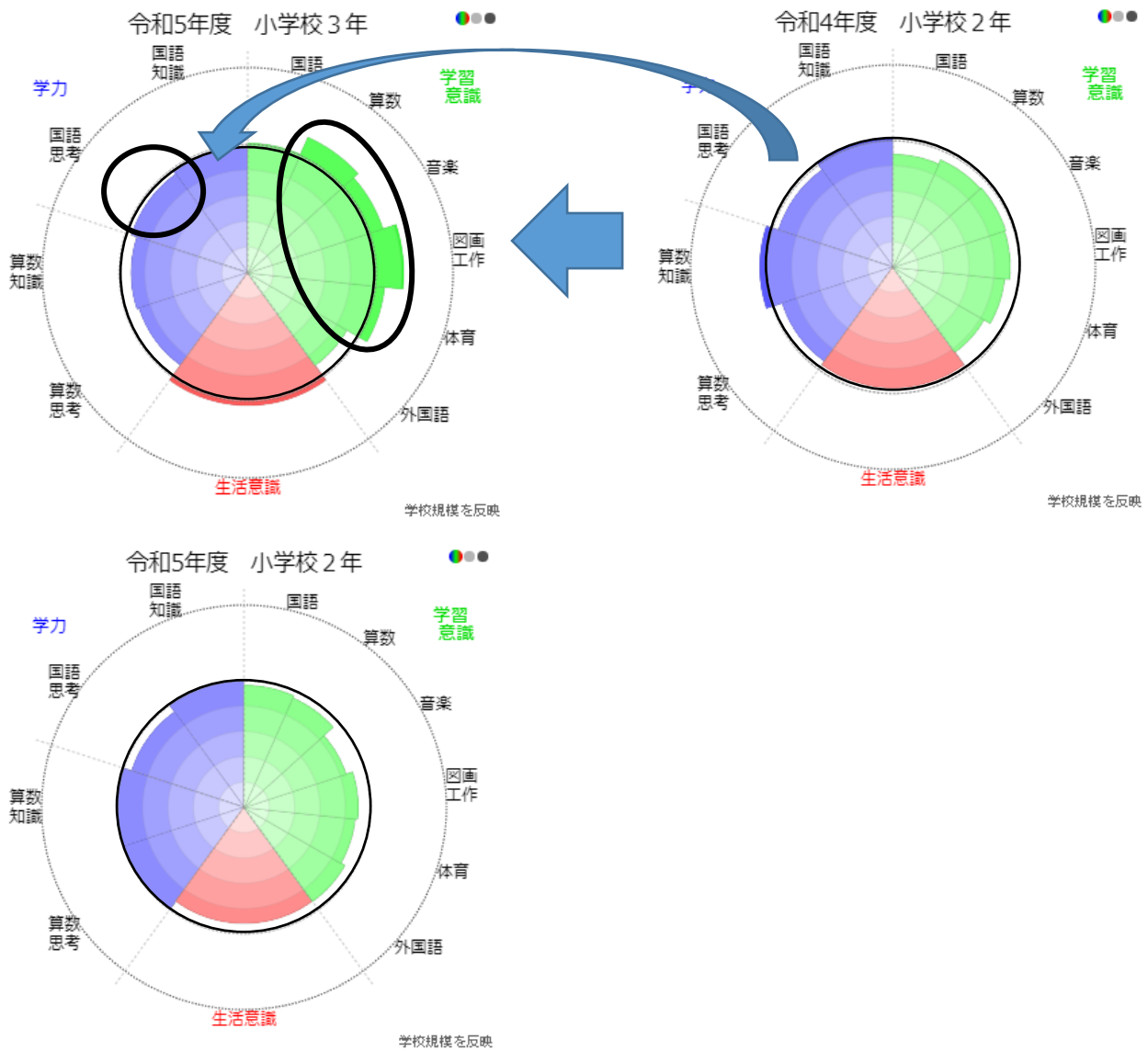


《令和5年度の学力状況調査の結果から》

\*中央の円が市の平均（外側に行くほど数値が高い）

\*円グラフ左側が「学力」について、右側が「学習意識」について、下側が「生活意識」について





◆学力（左側部分）について、横浜市の平均に届かない教科が各学年にある。国語に注目していくと、昨年度より市の平均に近付いている学年が多い。昨年度まで三年間継続して「国語」の授業研究で考えを「伝え合う」学習を進めることを中心に行っていることで、国語の知識と思考力が若干伸びている学年があるのではないか。

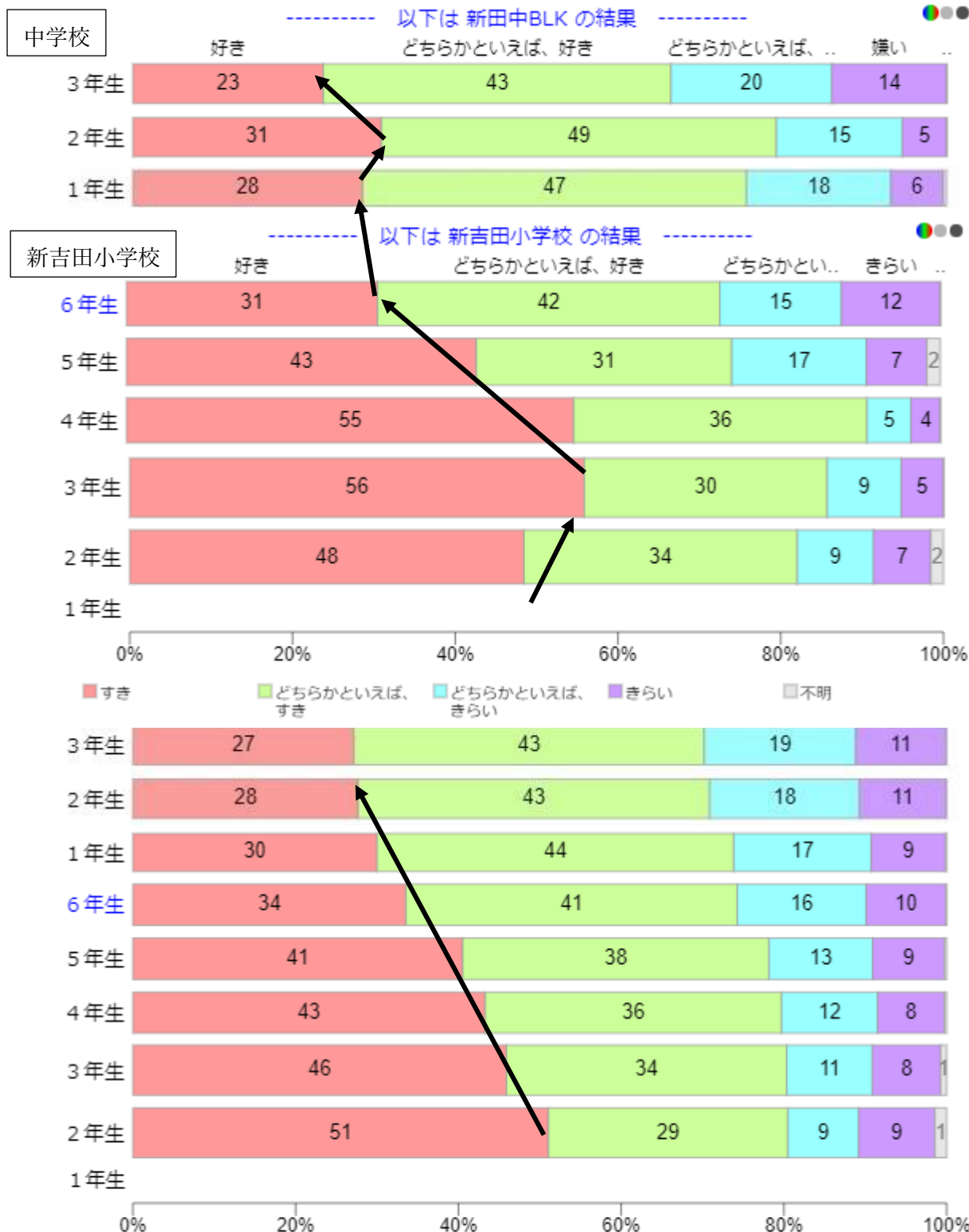
学習で得た知識を使うこと、伝える活動を取り入れることを、他の教科でも意識して行っていきたい。

◆3年生の学習意識（右側部分）については、高くなっている。「進級したので気持ち新たに、がんばる」という意識が強く出ているともとらえられる。ただし、高学年になると小さくなっていく。学習への苦手意識が強く出てくるのではないか。（\*調査は、昨年度より4月実施）

◆生活意識（下側）が高いと、学力・学習意識ともに伸びている。普段の生活から意識して指導・支援していくことも大切になる。

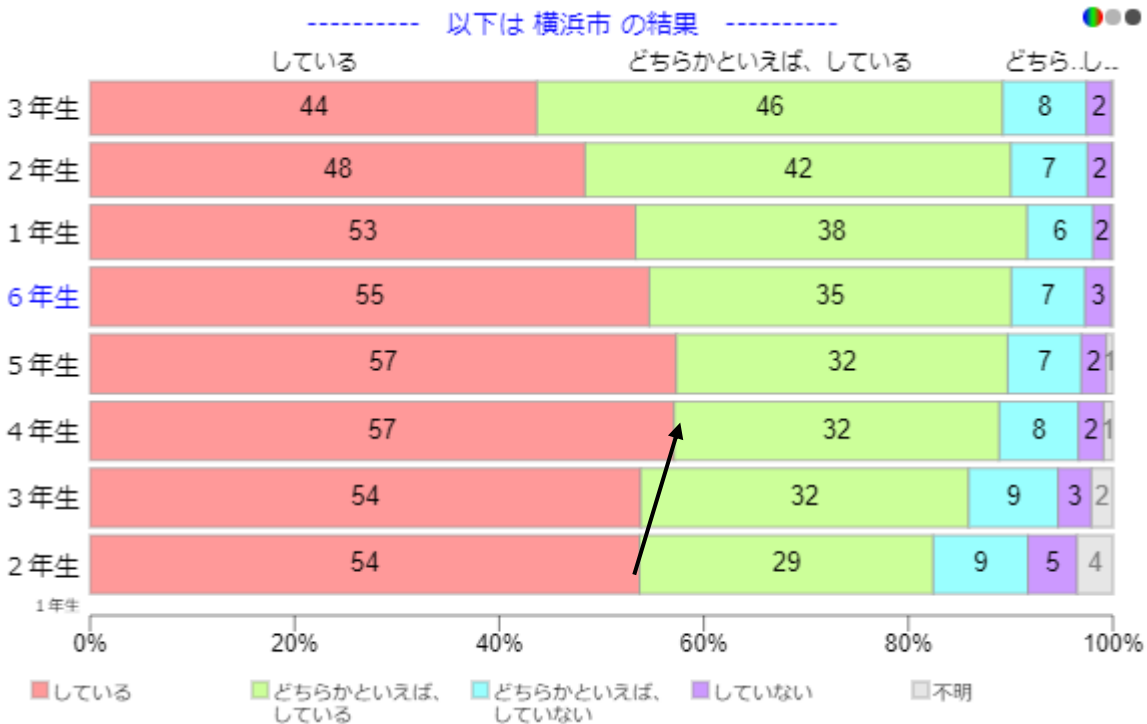
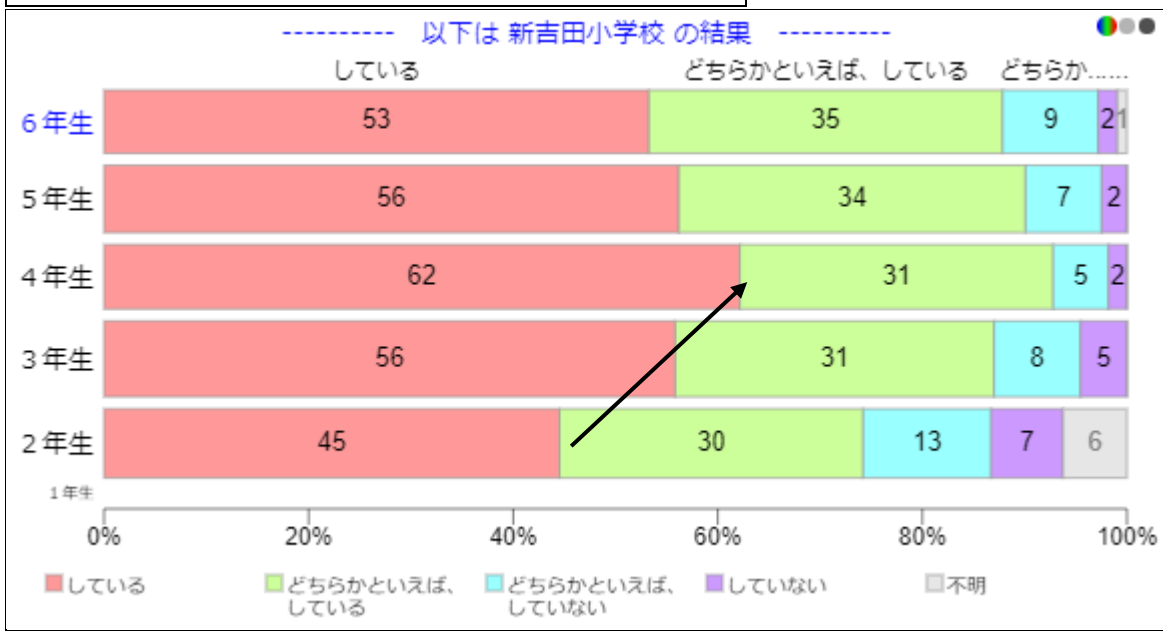
《令和5年度の学習状況調査の生活意識調査の結果から》

問 自分のことが好き



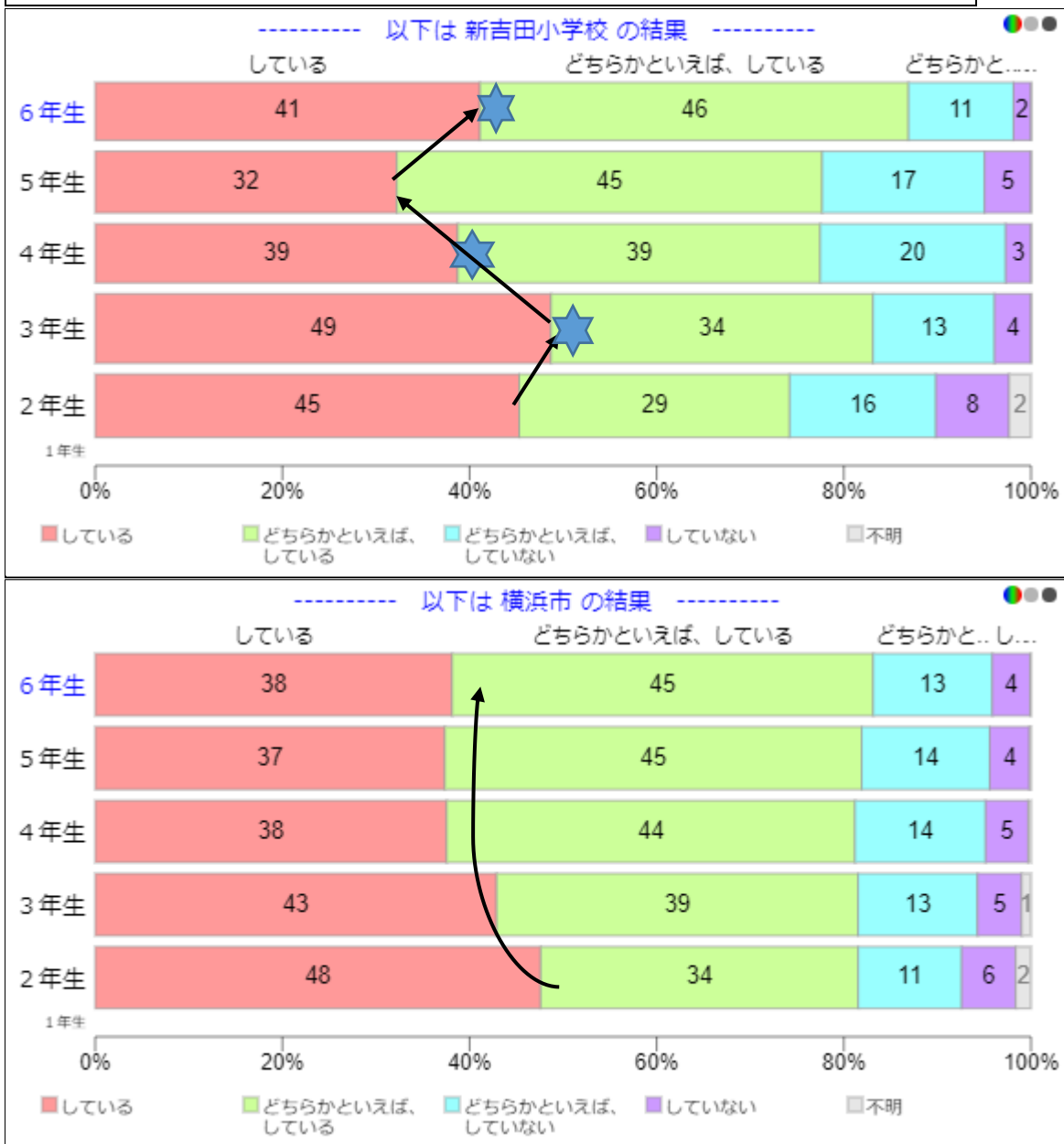
「自分のことが好き」という問いに対し、横浜市全体のデータでは、高学年・中学校に上がるにつれて「好き」と答える割合が減っている。一方、新田中学校・新吉田小学校で見ると、その傾向はあるものの中学2年、小学3・4年で「好き」と答える割合が増えている。本校の特色である自分のことを好きと思える3・4年生の時期を大いに生かした活動を考えていきたい。

問 自分の考えを相手に分かるように伝えようとしていますか。



「言葉で考えを相手に分かるように伝えているか」という問いに対し、ほぼ横浜市と同じような割合を示している。注目したいのは、2→3→4年の伸び率である。横浜市の平均と比べると大きいことがわかる。2年生ではまだ低いが、3年生・4年生と上がっていることについて、要因と考えられることとして、昨年までの3年間、国語科において「伝え合う」ことを中心に授業研究を継続してきたことの影響ではないか。今年度は、「伝え合う」力を使って他教科でも学習を進めていけるよう算数の授業研究に取り組んでいる。来年度も算数科を通して伝える力を発揮していることを期待したい。

問 自分の考えたやり方や理由を、他の人の考え方も聞いて、見つめ直すようにしています。



「自分で考えたやり方や理由を、他の人の考え方も聞いて、見つめ直すようにしていますか。」という問いに対し、ほぼ横浜市と同じような割合を示している。「している」の割合が市の平均を超えている学年(★)もある。3年生や6年生で数値が上がっているのは、国語科で培った「自分の意見を伝える」経験が、人の意見を聞くことにつながっているのではないかと考えられる。今後も、人の意見を聞き、自分の考えを振り返り、活用できる力をつけていきたい。